

第74回西日本生理学会

日 時：令和5年10月20日（金）・21日（土）

場 所：福岡県歯科医師会館・大ホール

当番幹事：福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 細胞生理学分野 藤田亜美

参加者数：49名

演 題 数：20題

第74回西日本生理学会は、福岡歯科大学を当番校として令和5年10月20日（金）・21日（土）に福岡県歯科医師会館大ホールで現地開催された。49名の参加者および20題の演題発表（内訳：一般口演16題、日本生理学会九州奨励賞審査対象演題2題、学部学生セッション2題）があった。

学会1日目は、冒頭で37歳以下の若手研究者や学生を対象とした「日本生理学会九州奨励賞」の審査セッションがあり、続いて一般口演10題の発表が行われた。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、懇親会は開催しなかった。2日目は、前回に引き続いてまず評議員会を行った後に学会を再開し、学部学生セッション2題と一般口演6題の発表が行われた。両日とも様々な分野に関する研究成果が口演形式で発表され、大変活発な討論がなされた。全口演の終了後、総会と日本生理学会九州奨励賞の表彰式が行われた。

日本生理学会九州奨励賞は5名の審査委員の厳正なる審査の結果、Peter Joseph Kasyoki氏（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内臓機能生理学）の「Macrophage induces hypertension in angiotensin II salt mice model」が受賞となった。もう1名の発表者の内容も大変質の高い内容であり、僅差での決定となった。

評議員会・総会では、第74回西日本生理学会の経過報告、花田礼子教授（大分大学）から日本生理学会理事会の報告、丸山崇先生（産業医科大学）より第101回日本生理学会大会に関する進捗状況に関する報告があった。また、次回（第75回）の当番校である佐賀大学医学部生体構造機能学講座生理学分野の安田浩樹教授から次回は令和6年10月18日（金）・19日（土）に佐賀市内にて開催予定との案内があった。また、次々回（第76回）の当番校は、大分大学医学部神経生理学講座の花田礼子教授に担当していただくことが承認された。

開催に際して、準備の事務作業は鍛冶屋浩准教授と進正史講師にお手伝いいただいた。学会に参加して下さった皆様、評議員会や総会での報告や座長、審査委員を引き受けて下さった皆様、ならびに運営に携わった皆様に心よりお礼を申し上げます。以上をもって本学会の最終報告とする。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2） p. 5～p. 11 をご覧ください。